

御池台 (医) 医真会かたぎり小児科

こどもと健康

NO・168 2016・6・3

6月から木曜日夕診を開始！

赤澤 英樹医師の着任により、6月から木曜日の夕診（午後5時～7時）の診療を始めました。水曜日午後1時半から予防接種・乳幼児健診の時間をもうけていますが、都合のつかない方は木曜日夕診を含め、一般診療時間でも受けることができますので、予約の上受診してください。

6月・診療担当医表

	午前診	予防接種	夕診
月	赤 澤		片 桐
火	赤 澤		
水	赤 澤	赤 澤	片 桐
木	赤 澤		片 桐
金	赤 澤		片 桐
土	片 桐		

赤澤 英樹医師が着任！

昭和56年（1981年）7月8日にかたぎり小児科（院長：片桐 真二）は開院、平成4年（1992年）7月1日に医療法人かたぎり小児科（理事長：片桐真二）に組織替えしました。この35年間、一貫して地域医療に専念し、泉北ニュータウンの子ども達の健康と命を守るべく活動してきました。堺市医師会小児科医会会長として、「はしかゼロプロジェクト」の推進、乳幼児医療費助成制度の拡充、小児救急医療制度の確立などに努力してきました。その結果、この6年間堺市では小児のはしか患者の発生はなく、大阪府で最初に乳幼児医療費助成制度（後の、こども医療費助成制度）は所得制限なく中学卒業まで1日500円（月2回を限度）を実現しました。泉北

急病診療センター管理医師として14年間、小児の初期救急患者を年間約3万人診療し、昨年7月には堺市総合医療センターに隣接して「堺市こども急病診療センター」をオープン、堺市の1次～3次の小児救急医療体制を確立することができました。

癌、脳梗塞、網膜剥離などいくつかの成人病を患い、療養中には患者さんにご迷惑をおかけしましたが、いずれも順調に後遺症もなく回復しました。しかし、年齢のこともあってこの7月1日に娘婿の赤澤 英樹医師（平成6年奈良県立医科大学卒業、医学博士、日本小児科学会認定小児科専門医）に継承することとなりました。

赤澤 英樹医師は平成6年奈良県立医大を卒業後小児科に入局、奈良医大附属病院、東大阪市立総合病院、済生会中和病院、町立大淀病院に勤務し、臨床経験豊富な小児科医です。

赤澤 英樹医師は4月21日に着任し、6月中は二人体制で診療します。時間外の相談にも対応し、上記の通り診療時間を増やし、学会出席で休診することも解消すると考えています。

7月1日、あかざわ小児科開院！

昭和56年（1981年）8月1日に開院した「かたぎり小児科」は35年間にわたり泉北ニュータウンにおける地域医療に貢献してきましたが、本年7月1日から赤澤 英樹医師が理事長並びに管理者（院長）に就任し、「医療法人 医真会 あかざわ小児科」として継承されます。片桐真二とは違った視点から赤澤 英樹医師は地域医療を見つめ、患者さんが満足のいく医療を展開すると思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

尚、片桐 真二は理事として7月以降も週1回、土曜日午前の診療を続けます。又、日本小児科学会と日本小児救急医学会が東日本大震災小児医療復興新生事務局と行っている福島、宮城、岩手県の被災3県における小児科診療応援に参加して、月1回程度岩手県立遠野病院に行く準備を進めています。その際は土曜日の診療は赤澤医師にお願いしております。「遠野だより」としてこの院内報に報告したいと思っています。

かかりつけ医を持ちましょう！

国民一人一人がなんでも相談できる「かかりつけ医」を持つよう、厚生労働省は考えています。成人だけではなく、就学前の小児についても「かかりつけ小児科医」を持つよう勧奨してきました。予防接種、健診、アレルギーなど専門的に指導や治療に当たる小児科専門医に今回の診療報酬改定により「小児かかりつけ診療料」ができました。当院でも採用を予定していますが、「同意書」の提出が必要となりますので、その際にはサインをお願いします。尚、堺市の「こども医療費助成」対象児には患者負担に変更はありません。

かたぎり小児科院内報「こどもと健康」は第168号の本号で終了し、次号から装いを新たに再出発すると思っておりますので、よろしくお願い致します。

長い間お付き合い頂き、ありがとうございました。